# アシュラスター®

液剤

農林水産省登録第23081号
有効成分：アシュラム：30.0%
MDBAカリウム塩：3.3%

毒物及び劇物取締法：非該当
包装：1ℓ×12本
有効年限：3年

**特 長**

◎スズメノカタビラや広葉雑草に高い効果を示すため、コースがきれいになります
◎散布スケジュールに余裕が持てます

## 適用雑草と使用方法

| 作物名 | 適用場所 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | | 本剤の使用回数 | 使用方法 | アシュラムを含む農薬の総使用回数 | MDBAを含む農薬の総使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 薬量 | 希釈水量 | | | | |
| 日本芝 | — | 一年生雑草 | 雑草発生初期 | 0.45～0.75mℓ/m² | 200～300mℓ/m² | 3回以内 | 雑草茎葉散布<br>又は全面土壌散布 | 3回以内 | 3回以内 |
| 樹木等 | 公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等 | 一年生雑草 | 雑草生育期<br>(草丈30cm以下) | 1.5～3.0mℓ/m² | 100～200mℓ/m² | | 植栽地を除く<br>樹木等の周辺地に<br>雑草茎葉散布 | | |
| | | 多年生雑草 | | 3.0～6.0mℓ/m² | | | | | |

### ◆標準的な秋期の使用薬量は0.6mℓ/m²

◎ 1,000ℓタンクに対して3本（3ℓ）を目安にご使用ください（散布水量200mℓ/m²の場合）
◎ 発生初期の散布によって安定した高い効果が得られます
◎ カタバミ、チチコグサ、カヤツリグサ類、コニシキソウ、トキワハゼ、オオバコ、ギシギシ、スミレ類には安定した効果が得られませんので、これらが優先する圃場ではこれらの雑草に対して除草効果の高い薬剤を組み合わせてお使いください。

## 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 雑草発生初期に使用する場合、夏季高温時及び芽立ち期の散布は一時的に黄化を生じるおそれがあるのでさけてください。
- メヒシバ、スズメノカタビラには効果を安定させるため、4～5葉期までに使用してください。
- 本剤は1年生イネ科雑草に対し遅効性で、効果の現れるまでにかなりの時間を要し、散布時期が遅れると効果が劣るので、時期を失しないように散布してください。
- 広葉雑草のうちカタバミには効果が劣るので、それらの優占する所では使用をさけてください。
- ベントグラス等の西洋芝では薬害を生じるのでかからないようにしてください。
- 散布薬液の飛散や流出によって、周辺の有用植物に影響を及ぼさないよう十分に注意して散布してください。また、樹木など、有用植物の根が分布していると思われる所では使用をさけてください。
- 散布に使った器具類は良く水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 雨水が直接河川、かんがい水、農耕地に流れ込むような場所、特に傾斜地では大雨の予想される場合は散布をさけてください。
- 水源池に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空瓶等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## 安全使用上の注意

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

## 貯蔵上の注意

- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

※この文書の記載内容は2020年12月現在のものです。2020年12月作成（ADV-T&L2020-01R02）